

01人だったので、1人平均23・1枚の利用があった。しかし、全く使っていない方が1200人くらいいる。こういった形で配布するの
がよいか一度検討したい。

●民生費

地域自殺対策緊急強化事業

問 22年度に実施した事業の内容は。また、国から指定されている事業メニューのうち対面型相談事業は実施したのか。

答 自殺予防啓発用ポスターを作成し、市役所ほか公共施設に掲示している。自殺防止キャンペーンとして蒲郡まつりなどの各種イベント時にマスクなどのノベルティを配布した。また、民生委員を対象に勉強会を開催した。

対面型相談事業は実施していないが、障がい者支援センターや市役所、保健所の職員などが連携して相談業務を行っている。

●衛生費

分別収集事業

問 プラスチック製容器包装分別収集事業の概要につ

いて伺う。

答 19年から大塚地区でモデル的にスタートし、逐次対象地区を広げて22年秋に全地区での取り組みになった。22年度の収集運搬処理委託料は4300万円弱である。現在の異物混入割合は12%から13%ぐらいであるため、プラスチック製容器包装に関する啓発に努めていきたい。なお23年度は4月当初からの全地区での取り組みの年であるため、委託料はさらに高額になる。

●農林水産業費

漁業後継者育成事業

問 22年度は1人で15万円という決算になっている。この事業は後継者の確保、育成を目標として行われている奨励金であるが、新規

に船やその装備を購入する場合の補助金はあるか。

答 船を購入したりする場合の直接の補助はない。しかし、漁業近代化資金などの融資を受けた場合の利子補給を行っている。

●商工費

テックスビジョンミカワ

問 市の主要産業とも言われている繊維業界に、22年度は370万円を市が負担した本事業について伺う。

答 基本的には、テキスタイルフェアと東京展示会の2つの事業をやっている。テキスタイルフェアを本来商談の場としていたが、最近では東京展示会に商談の場としての重きを置き、テキスタイルフェアは市民の交流の場として事業を進め

ている。

●土木費

急傾斜地対策事業

問 最近台風や大雨による土砂災害が多発している。市内の急傾斜地の数と今年度に対策を講じた実績は。

答 高さが5m以上、角度が30度以上で人家や学校の有無を判断し、県が指定した急傾斜地は市内に137カ所ある。

23年度は13カ所の工事に着手し、現在は9カ所の工事が完了している。22年度は西浦町の山崎地区と東上野地区について工事を行い対策を講じた。

●消防費

救急医療情報キットの配布

問 配布の現況及び今後の配布予定はどうか。

答 23年3月1日から事業を開始し、3千個のキットを購入し、8月末現在の配布数は1150個である。内訳は65歳以上の方が85%、障害者の方が11%、その他健康に不安のある方が4%となっている。今後は、寝たきりや障害

があり、市役所に来られない方等にヘルパーや民生委員を通じてPRし、直接配布ができたかと考えている。

●教育費

外国人児童生徒教育事業

問 外国人児童生徒数の状況と事業の内容を伺う。

答 昨年の9月の調査では市内11小学校に91名、6中学校に49名が在籍し、そのうち日本語教育が必要な者は80名である。

学級担任及び教科担任が授業と授業外にわたり、可能な限り寄り添い日本語指導をしている。しかし、限界があるので、語学補助員の力を借りて、取り出し授業を行っている。また、日本語が話せない保護者に対しても通訳や、通知表及びお便りの翻訳を行っている。

■歳入

市たばこ税への影響

問 過去2回の税率改定は1本当たり0.8円程度であったが、22年度の税率改定は1本当たり35円とかなり大きかった。22年度の収入に与えた影響は。

■9月定例会の日程

6日	本会議〔会期の決定、議案説明、一般質問など〕
7日	決算審査特別委員会〔一般質問〕
8日	本会議〔一般質問〕
9日	総務委員会
13日	文教委員会
15日	決算審査特別委員会
16日	決算審査特別委員会
20日	決算審査特別委員会
21日	決算審査特別委員会
26日	本会議〔委員長報告、質疑、討論、採決など〕